

当院検査部にて臨床検査を受けた患者さんへ

【研究課題】

自動化学発光酵素免疫分析装置 Accuraseed による高血圧マーカー測定の有用性 3333-121

【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学医学部附属病院検査部
研究責任者 検査部臨床検査技師 上市 裕子
担当業務 データ収集・匿名化・データ解析

【共同研究機関】

研究機関 富士フイルム和光純薬株式会社
担当業務 データ収集・匿名化・データ解析

【研究期間】

2017年3月～2021年3月

【対象となる方】

2017年3月～2021年3月の間に当院外来受診及び入院された患者さん。通常診療の一環として提出された検体の残検体を使用するため、採血量が増えることもなく、本研究により新たな侵襲は加わりません。

【研究の意義】

レニン-アンジオテンシン-アルドステロン系は、主に血圧の調節や電解質バランスの維持に関わることが知られており、レニン及びアルドステロン測定値は、原発性アルドステロン症 (PA) などの二次性高血圧疾患の指標となっています。二次性高血圧疾患には PA の他にクッシング症候群や褐色細胞腫などが代表的なものとして挙げられますが、これらの診断にはコルチゾール測定値が重要となります。本研究により、適切な二次性高血圧疾患のマーカーの活用に関する情報を得ることが期待されます。

【研究の目的】

自動化学発光酵素免疫分析装置 Accuraseed のレニン、アルドステロン、コルチゾール測

定試薬それぞれの基礎性能や従来の測定法との相関を評価し、本試薬がルーチン検査法として十分な性能を有することを評価することを目的としております。

【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学医学部附属病院長の許可を受けて実施するものです。本研究では、廃棄前の残検体を収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの人体試料や情報・データ等は、解析する前にあなたの個人情報とは一切連結できないようにした上で、当検査部において研究責任者（上市裕子）が、パスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。そのため、個人の結果をあなたにお伝えすることはできません。

★この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は、主治医にお伝えしていただくか、下記の研究事務局までご連絡下さい。ご連絡いただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定できない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がありましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、富士フィルム和光純薬株式会社から支出されています。

○本研究は、富士フィルム和光純薬株式会社より研究資金・機器等の提供を受けて実施いたしますが、東京大学医学部利益相反アドバイザー機関に報告し、利益相反マネジメントを適正に行っています。

○本研究は、富士フィルム和光純薬株式会社により研究資金・機器等の提供を受けて実施いたしますが、研究の実施や報告の際に、富士フィルム和光純薬株式会社に都合のよい成績となるよう意図的に導いたりすることはありません。

尚、あなたへの謝金はございません。

2019年3月

【問い合わせ先】

東京大学医学部附属病院検査部 臨床検査技師 上市裕子

住所：東京都文京区本郷7-3-1

電話：03-3815-5411（内線 35023） FAX：03-5800-8630

Eメールでのお問い合わせ：kamiichiy-lab@h.u-tokyo.ac.jp